

産直施設について

Q 1 産直施設について

- ①産直施設の定休日が祭日と重なった場合は、営業して欲しい。
- ②駐車場が満車のことが多いので、改善して欲しい。
- ③午後になると品物が売り切れていることが多い。
- ④産直施設だけでは欲しいものが買いきれないので、スーパーに行く必要がある。
- ⑤季節の野菜はお値打ちだけでも、お菓子が高く感じます。
- ⑥もう少し販売力があるといいと思います。
- ⑦有機栽培の商品販売の場を設けて欲しいです。
- ⑧苗などの入荷時期の情報が事前にHPなどで確認できると嬉しいです。

回答（園芸部）

- ①当 J A の産直施設は、生産者の出荷体制および職員体制に基づき営業日を設定しています。祝日の臨時営業については、ゴールデンウィークやお盆、彼岸、年末といった時節に合わせた臨時営業を実施しておりますのでご理解の程よろしくお願い致します。
- ②週末やイベント時の混雑については課題として認識しております。近隣スペースの活用や誘導警備員の導入対応など、可能な範囲で改善策を実施しておりますのでご理解の程よろしくお願い致します。
- ③午後の品揃え不足は、認識しております。産直会員への午後出荷依頼、市場仕入れの強化等で補完しており、また、令和7年12月より産直集荷便を試験運用し、産直集荷者および出荷品目の拡大に努め、令和8年8月の本格稼働に向け、引き続き品揃え改善に努めます。
- ④当 J A のグリーンセンターは、売り場面積に限界があり、S M（スーパーマーケット）店舗のような品揃え確保は想定しておりません。また、産直商品だけでは十分な品揃えとならない場面があり、ご不便をおかけしています。産直品の確保や加工品、季節商品などの拡充を進め、よりニーズの高い商品が揃う店舗づくりを目指してまいります。
- ⑤お菓子類についても市場調査を行い、適正価格の維持と品揃えの見直しを進めます。
- ⑥季節野菜を使ったレシピ紹介、POP の工夫、SNS 発信など、販売促進策を強化し、今後も魅力ある売り場づくりに取り組みます。

⑦有機農産物の取り扱いについては、農林水産省の「有機ＪＡＳ規格」に基づき、化学肥料や化学合成農薬を原則使用せず、遺伝子組み換え技術を使わずに、土づくりから管理された野菜のことであるため、産直出荷者に該当される生産者はいないのが現状です。しかしながら、生産履歴提出・残留農薬検査など安全性確保の取り組みは既に実施しています。

⑧苗の販売時期について、店頭表示だけでなく、HP や LINE での情報発信の可能性について検討します。

農産・園芸事業について

Ｑ２ 直売企画の開催について

- ①安価なお米を販売して欲しい。
- ②通常では市販しないＢ級品の野菜も、産直施設等で販売会をして欲しいです。
- ③グリーンプラザに販売しているが、他の方が安価で販売していることもあり、中々売り上げに繋がりにくいです。神守支店の駐車場など、販売経路を増やして欲しいです。

回答（園芸部）

- ①米の販売については、生産者価格・市場価格の状況を踏まえつつ、販売促進の一環としてできる限り安く提供できるよう価格設定を行います。
- ②規格外品（Ｂ級品）の販売は、食品ロス削減の観点からも有効と考えます。生産者の意向と衛生管理の観点を踏まえ、検討します。
- ③令和７年１２月より産直集荷便を試験運用し、各集荷拠点よりＧＣ津島店へ産直出荷品を集め販売しております。令和８年８月の本格稼働に向け、各店舗への配送、販売も視野に入れ進めて参ります。
また、支店の判断にもよりますが即売会を行っている事例もあり、販売場所の拡大については検討可能です。そのため、店舗特性や出荷量を踏まえて企画します。

Q 3 農業の将来について
<p>①若い農業者の育成に力を入れて欲しい。</p> <p>②JA海部東の時に開催されていたような「農業塾」を開催して欲しいです。</p>
<p>回答（園芸部）</p> <p>①当JAでは主要品目を中心に新規就農支援事業に取り組んでおり、若手農業者育成は重要施策として進めています。現在、トマト部会では令和4年度から若手の会を発足させ品質や収量向上に向けた勉強会を開催しています。今後も関係機関とも連携を図り、栽培から経営までを支援し生産基盤の維持に取り組んで参ります。</p> <p>②初級者向けの農業塾は、JAあいち海部でも過去に行ってまいりましたが、現在は限られた職員数で業務を運営するにあたって、産地維持を第一の目的に、産直出荷を目指す菜園倶楽部に力を入れているところです。家庭菜園向けとしましては、産直施設で栽培講習会を定期的に開催しておりますので、ご参加いただけますと幸いです。</p>

金融事業について

Q 4 金融事業のサービス対応について
<p>①一般的な金融機関と比較して手続きが厳密なように感じる。</p> <p>②JAカードに年会費がかかることに疑問がある。</p>
<p>回答（金融部）</p> <p>①金融・共済手続きは法令遵守のため厳格に行っておりますが、できる限り分かりやすい案内とスムーズな手続きに努めます。</p> <p>②JAカードの年会費はカード会社の規定によるものですが、年会費が無料となる条件や特典など、利用者メリットが伝わるよう周知に努めます。</p>

Q 5 キャンペーンについて
<p>①貯金のキャンペーンでお米が景品の企画をして欲しい。</p> <p>②他の金融機関より、魅力的な金利やキャンペーンをして欲しいです。</p>
<p>回答（金融部）</p> <p>①お米の景品もニーズが多いですが、お米だけでなく、その他の産直品にも使っていただけるよう、直売所で使用いただける農業応援チケットを景品として企画しております。</p> <p>②市場金利環境の中で最大限の努力を行ってまいります。今後も、実施するキャンペーンでは魅力的な内容になるよう検討します。</p>

その他事業活動について

Q 6 料理教室について

①季節の野菜を使った料理教室を開催して欲しい。

回答（企画部）

① 貴重なご意見を寄せていただきありがとうございます。地元野菜の魅力を活かした取り組みに関心をお持ちいただき、心より感謝申し上げます。

現在、当 JA では野菜ソムリエプロの資格を有する職員が在籍しており、産直施設等において旬の野菜を活かしたレシピの考案や情報発信を行っております。

日々の食卓に取り入れていただきやすい内容を心掛け、来店者の皆さまに活用いただいているところであります。こうした産直施設等でのレシピ提案や情報共有を通じて、旬の野菜の楽しみ方をお伝えできればと考えています。

他にも、海南病院の栄養士と連携した料理教室や、食農教育として親子向けの料理教室も開催しておりますので、ぜひともご参加をお待ちしております。

Q 7 イベント・企画について

①旬の野菜・果物の施設見学をどんどんやって欲しい。

②果樹の剪定や病虫害の防ぎ方など、農業に関する講習に参加したい。

回答（企画部）

①旬の農産物の生産現場や施設をご覧いただくことは、地元農業者への理解を深めていただくとともに、食への関心を高められる大変意義のある取り組みであると考えております。一方で、見学の受け入れにつきましては、農作業や施設運営、安全面への配慮等も必要になることから、実施内容や時期等につきましては今後の事業運営や企画等も考慮しながら、食育や地産地消推進につながるためにも検討してまいります。

②果樹栽培における剪定や病虫害対策は、安定した生産や品質向上のために重要な技術であり、学びの機会をご希望されるお気持ちは大変ありがたく存じます。

現在、JA では営農指導（主幹）を中心に、剪定教室や産直施設での栽培研修会を定期開催し技術支援や情報提供を行っておりますが、いただいたご意見につきましては、准組合員の皆さまにも農業への理解を深めていただける取り組みとして、今後の講習会や企画検討の参考とさせていただきます。

Q 8 その他事項について

①職員の対応力が乏しいと感じる。

回答（総務・人事部）

①どのような場面でそのようなお感じになったかは、ご質問から把握できかねますが、当 JA では顧客本位の業務運営に関する取り組み方針を掲げており、利用者目線にたった対応を指導しております。ご指摘いただいた通り、まだまだ改善が必要であると受け止め、対応マナーのレベルアップや商品知識を充実させて、適時適確な対応ができるよう職員教育や自己研鑽を重ねて対応力向上に取り組んで参ります。